

案である。傷病程度の内訳は、重症5名、中等症10名、軽症3名であったものの、集団災害適用から所要時間が59分という短時間での全傷病者の搬送完了に至ったもの。

熱中症の予防と対策（暑熱順化トレーニングの必要性）

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部 森川武治 岡本真一

毎年夏場になると、現場活動や警防訓練等で職員の熱中症が発生していたが、暑熱順化トレーニング（完全着装しての小隊活動及びランニング等）を一定期間実施することで順化形成し、また適切な水分補給方法についても認識を深めることで、熱中症の発症リスクが低減した。

木造住宅火災における天井裏消火器具の有効性と近隣協力者の的確な情報提供

堺市消防局

井上良太郎

平成29年5月、深夜に堺市の住宅で発生した火災において、2階建木造住宅延約85㎡の内、80㎡が焼損した事案である。居住者2名の内1名が室内に取り残されていたが、近隣協力者の情報により要救助者を迅速に救出できたもので、

また天井裏並びに壁体内部の消火活動に天井裏消火器具を活用し、的確な消火活動を実施したもの。

名神高速道路（梶原トンネル内）合同防災訓練 実施結果と検証結果

高槻市消防本部

乾裕佐

平成29年5月の夜間、名神高速梶原トンネル内において、多重衝突事故により火災が発生、複数の負傷者がでているとの想定で、管轄地である高槻市消防本部をはじめ6消防本部警察、道路会社等の関係機関が連携し合同訓練を実施した。

特殊共同住宅（旧簡易宿泊所）火災

大阪市消防局

滝口晃右 石川弓華

平成29年1月、夕方に大阪市の共同住宅で発生した火災において、鉄骨造一部木造陸屋根モルタル塗り4階建共同住宅建4300㎡延1、320㎡の内、1、2、3階合計223㎡焼損、213㎡表面焼損した事案である。簡易宿泊所から共同住宅に用途変更し、また増改築もある複雑な構造の建物火災で、7

名を救出するに至ったもの。

【外部講師による講演】

放射線管理区域内で発生した火災の活動概要と教訓

京都市消防局

上阪知史氏

平成28年7月、夜のはじめ頃寛知の京都市の大病院研究施設で発生した火災で、119番通報受信時には危険物（放射性物質等）の有無が判明せず、中層建物火災として消防隊等が出動、現場到着した指揮隊等により放射性物質取扱施設の存在が順次判明していくなかで、消防活動を行ったものである。焼損状況は耐火構造地上4階・地下1階建て延約5,981㎡の1階南西側の実験室（約29㎡）から出火。同実験室29㎡焼失、1階廊下35㎡を焼損した。

おわりに

前述のとおり、今回発表された6事例は火災事例に限らず、消防隊が災害現場で感じた貴重な教訓や課題のほか、事後に行った研究の成果であり、今後の警防活動において非常に参考となる内容でした。また、第2部の講演ではユース



でも大きく取り上げられた事案であり、また実際現場で活動した隊長の実体験を聞くことができ聴講者からも大変有意義な時間だったとお声をいただきました。

今後火災事例に限らず「消防活動事例」を対象に、大阪府下各消防本部（局）で情報共有を図ることで、災害に対する消防活動の知識と技術の向上につながると確信しています。

最後に、この場をお借りしまして大阪府下各消防本部（局）のご協力及びご理解並びに関係各位のご尽力により、無事開催できたことに対して厚く御礼を申し上げます。

（文責 小林）